

第1回 四万十町地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

- 開催日時：令和2年6月26日（金） 15時10分～16時30分
 - 会場：四万十町役場本庁東庁舎 地域交流センター 多目的大ホール
 - 出席者：森武士（四万十町 副町長）、岡田哲也（高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課 課長）代理出席：杉浦崇文、出海博史（四国運輸局高知運輸支局 総務・企画観光部門 首席運輸企画専門官）代理出席：柴山和広、山本圭（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官）、田岡弘久（四国旅客鉄道株式会社 高知企画部長）代理出席：中尾貴紀、猪野健良（株式会社四万十交通 路線事業部 総務課）、三浦ひろみ（有限会社丸三ハイヤー 専務取締役）、中平由起子（特定非営利活動法人地域支援の会 さわやか四万十 代表理事）、植村耕平（医療法人川村会くぼかわ病院 用度・管財長）、国澤豪人（四万十町国保診療所 事務長）代理出席：林和人、國元豊美（窪川地区代表）、谷崎直子（十和地区代表）、船村覺（四万十町区長連絡会 会長）、清藤周作（一般社団法人四万十町観光協会 事務局）、濱崎隆（株式会社ハマヤ 代表取締役社長）、山崎明洋（高知県須崎土木事務所 四万十町事務所 工務課長）、細川卓也（高知県窪川警察署 交通課長）、浜田章克（教育委員会 教育次長）、三本明子（高齢者支援課 課長）代理出席：浜田早苗、長森伸一（健康福祉課 課長）、大元学（政策監まちづくり推進室長）
 - 欠席委員：芝和寿（有限会社十和ハイヤー 代表）、西内裕晶（高知県公立大学法人高知工科大学 システム工学群 講師）、八木雅昭（社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 会長）
 - オブザーバー：細谷公平（国土交通省四国運輸局交通政策部 交通企画課）
 - 事務局等：山本康雄、福留宏知、片岡真由子（四万十町役場 企画課）
土居貴之、藤田順也（えこ・まち研究室）
-
-

1. 開会

(1) 会長挨拶

前年度策定した四万十町地域公共交通網形成計画について、移動手段確保に関する地域マスタープラン計画ができたと考えている。計画期間である5年間の初年となる今年度から実施していく内容を協議していきたい。

(2) 委員の自己紹介

(3) 会議の成立について

委員24名に対して出席者21名で過半数を超えていることから本会議が有効である。

2. 報告事項

(1) 四万十町地域公共交通網形成計画の策定について

事務局より、四万十町地域公共交通網形成計画の策定について説明を行った。

【質疑応答及び意見の提示】

特に無し

3. 協議事項

(1) 四万十町地域公共交通網形成計画に係る取り組みについて

(2) 令和2年度の事業実施概要について

事務局より、資料1と資料2について説明を行った。

【質疑応答及び意見の提示】

(中平委員)

- 資料2、18P、3-⑤-01について、車の運転について不安に思う高齢者が運転免許証返納することにより安全性は確保できるが、おでかけができなくなっている。新型コロナウイルスの関係で、あったかふれあいセンター事業なども3ヶ月くらい訪問ができなかった。高齢者は体力的、精神面で落ち込んでいるように見られる。運転免許証の返納者へどういったメリットがあるか情報発信していく事が重要である。

(事務局より回答)

- 四万十町として、運転免許証の返納した人には、申請方式であるがタクシー、バスなど利用できる無料券を発券している。

(國元委員)

- 資料2、18P、3-⑤-01、運転免許証返納に関する情報発信について、運転免許証返納者だけでなく、運転免許証失効者も対象にしてもらいたい。また、情報発信の取り組みは次年度からではなく今年度から取り組んでいけばいいのではないかと。

(事務局より回答)

- 運転免許証失効者の方にもお知らせしていきたい。また、実施時期についても、今年度から取り組めるように調整したい。

(谷崎委員)

- 運転免許証の返納をした人でも無料券の制度を知らない人がいる。この制度を知らない人が他にもいると考えるので周知していくことが重要である。

(事務局より回答)

- 申請しないと無料券がもらえないので、広報など関係機関と連携を取りながら周知徹底していく。

(大元委員)

- 資料 2、6P、1-③-01 について、観光客などが迷うことなく目的地に移動できるよう施設への掲示を考えていると思うが、行きだけではなく帰りについても検討していく必要があると考える。具体的な掲示内容を教えてほしい。

(事務局より回答)

- 観光施設へ公共交通で行けるのであれば、最寄りのバス停から目的地までの四万十町内の一つの規格で分かりやすい見せ方を工夫しなければならない。路線と時刻と運行事業者の情報は必要最低限の情報として掲示を行う。駅に掲示する情報としては、路線を行き先別に色を変えて掲示をするなど、土地勘のない人にも分かってもらえる情報発信を考えている。

(國元委員)

- 窪川中心部での移動手段がタクシーしかない。病院から買物に行くにも値段などで利用が難しい町民もいる。今後のタクシー事業の在り方をどう考えているのか。

(三浦委員より回答)

- タクシーは、料金が高いため利用しづらい人もいると思うが、好きな時間に好きな所で乗降できる利点として見てくれる利用者もいる。四万十町のタクシーチケットで利用してくれる人もいる。タクシーを安心して利用できるようタクシー1台は必ず窪川駅に常駐するようにしている。窪川地区での移動で病院から買物へ行くのにうまく活用していただいていると感じている。もっとこうしてほしいなど意見や提案をもらえればできることは検討していきたい。

(柴山代理委員より意見)

- 資料 2、3P、1-①-02 の移動制約者への対応が今後の課題解決へ向けての施策になっている。タクシー、バス、鉄道だけと考えるのではなく、福祉バス、スクールバス、病院バスなども含めてうまく利用していくことが重要になってくる。バスは遠いところへの移動だけに使う移動手段ではなく、近くの移動にも利用できる。バスの時刻など路線がないのであれば、タクシーを利用するなど地域の方が利用できるよう今ある情報をまとめて周知していくことも重要である。また、高知県と共に新しい技術として AI を活用した移動手段を検討している。

(中平委員)

- 十和地域にタクシーが 1 台、大正地域にはタクシーがない状況で、窪川の病院に行く人がいる。週 2~3 回病院が通院バスを出しているが、それ以外の日に病院に行く場合、帰りはバスの時間が合わずタクシーを利用している。そういう状況があるので、

今年度から地域の住民が主体となった移動手段を考えている。しかし、今あるコミュニティバスなど地域住民にとってなくてはならない公共交通も活用しながら総動員して考えなければならないと感じている。

(谷崎委員)

- 資料2、9P、1-④-01、待ち合い所の整備について、早く取り掛かってもらいたい。買い物で2時間待たないといけない場合もある。十川地区と昭和地区に1箇所ずつでもいいので検討してほしい。

(中平委員より提案)

- 十和診療所近くにあったかふれあいセンターがあるので利用してもらえればと考えている。十川の場合、スーパー彦市十和店近くの農協に相談してバス待ち合いとして利用をお願いできないかと考える。

(事務局より回答)

- 待ち合い所整備について、調整できるところは早く取り組んでいく。

四万十町地域公共交通網形成計画に係る取り組みについて：全員異議無し承認
令和2年度の事業実施概要について：全員異議無し承認

4. その他

(1) コミュニティバス時刻表冊子について

事務局より、資料3について説明を行った。

【質疑応答及び意見の提示】

特に無し

四国運輸局を離任する柴山氏（オブザーバー、代理委員）より挨拶

公共交通を守っていくには、地域のみんなで利用し、つくりあげていくことが重要だと考えている。おでかけイベントを受ける立場ではなく発案する立場で心掛けをお願いしたい。四万十町は新しい事業を率先的に取り組んでいるので、支援制度に関しては相談していただければと思う。

5. 閉会 16:30